

皆さんの智と力をお貸し下さい



介護問題 ホットライン 開設にあたり (電話よろず相談)



はい、介護問題
ホットラインです

各地方自治体で新「総合事業」が始まり、また、国会では、介護保険関連法の改定がなされ、一段と介護保険が使いにくくなり、住民から遠くなって来ています。

こうした新しい事態の中で介護を巡る混乱や戸惑い、あるいは不満・不安が、高齢者や家族、介護関連事業者や介護労働者のなかで拡がり始めています。「赤字が拡大し、事業の将来が見通せない」と事業を廃業したり、縮小したりする介護事業所も現れています。

介護保険制度や新「総合事業」をはじめ介護問題に対する多くの不安や疑問、意見や相談を電話で直接受けとめる「ホットライン」の開設準備を始めます。この事業は、大阪市ボランティア活動振興基金「福祉課題に取り組む調査研究支援事業」の助成事業です。

9月29日～10月1日（国際高齢者デー＝日曜日）の3日間、皆さんの共同の力でホットライン開設する。

この事業には、相談マニュアルの作成、電話相談員の募集と研修会、「ホットライン」開設の宣伝・広報活動等多くの団体・人びとの共同の活動と努力が求められます。また、寄せられた人々の声を集約・集計し、介護を巡る人々の意見や思いを社会的な力に換えていける報告書を作成します。

お願いします！ 皆さんの協力の力でこのホットライン事業を成功させるために

① 「ホットライン」開設事業の実行委員会に参加して下さい。

(団体・個人で、この事業の企画・準備・実施等の推進役となって活動をお願いします)

② この事業の賛同者に名前を連ねて下さい。

(団体・個人の賛同者の連名した宣伝文によって、この事業の意義や大切さを多くの人々へ訴える力になって下さい)

③ この事業を支えるために寄付をお願いします。【一口 2,000円で募ります】

(電話の借り受け、会場設営、研修会・勉強会の準備・実施の費用、宣伝活動などに50万円前後の資金が必要です。)

..... 切り取り

①②に○印を付けて回答下さい。③は、数字を記入下さい。

① 実行委員会に (A 参加する B 参加しない) Aの参加する⇒【 団体で参加 個人で参加 】

② ホットラインの事業に (A 賛同者になる B ならない) A賛同⇒【 団体で参加 個人で参加 】

団体の場合⇒ 団体名 ()

③ 寄付をする @2000円× () 口 = () 円

《寄付の振り込み先》 大阪宅老所・グループハウス連絡会 の郵便貯金口座へ下記の方法で振り込み下さい。

(垂貯からの振り込み) 記号：14150 番号：43500321

(他の金融機関からの振り込み) 店番：418 預金種目：普通預金 口座番号：4350032

連絡先の氏名			
ご住所	〒		
電話番号		携帯電話	
メールアドレス			

★ お申込みは FAX：06-7172-1511 エフ・イー 「介護問題ホットライン」まで